



印西市立西の原中学校

学校だより

発行 令和8年7月1日 No. 3

〒270-1334

印西市西の原一丁目3番地

TEL 0476-45-0160

FAX 0476-45-0161

特別支援相談窓口・コーディネーター
(教頭・賀集・野々宮)

セクハラ相談窓口

(関口・鈴木美・糸川・森元・教頭)

【学校教育目標】

自ら考え、心豊かにたくましく生きる若者の育成
～常識と良識を持った生徒～

継続できることは「能力の一つ」、 繰り返しは「気づきへの足がかり」

印西市立西の原中学校

校長 加藤 知巳

6月は、学校として忙しい時期の一つで、2年生の自然教室、1年生の校外学習、そして定期テストがありました。すべて大きな問題等がなく、予定通りに進めることができたことに安堵するとともに、学校生活において生徒の様子を見ても行事を通して着実に成長し、前向きに授業等に取り組んでいると感じております。

最近、新聞や専門雑誌等で話題の一つに挙げられることが、子どもの自己肯定感の低下についてです。自己肯定感について調べると、「ありのままの自分」を受け入れ、自分の価値や存在意義を肯定する感覚のことと一般的に説明があります。この解釈をもとに低下につながる心理的状況等を考えると、①「友達と比較しすぎて劣等感を抱いてしまいがち」、②「小さな失敗でも自分自身を強く責めてしまう」、③「嫌われるのを恐れて、自分の意見を言わず他人を優先する」などが推測できるところであります。

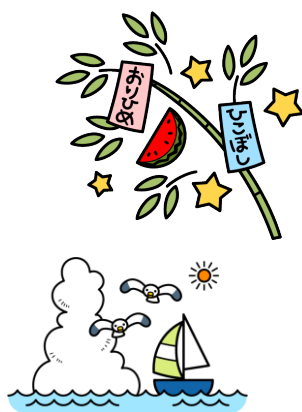
私は、自己肯定感の低下については、最近起こった問題ではなく、私が教員をスタートした30年前からあった事象であると考えております。学級担任として生徒一人ひとりとのかかわり、悩み等を把握する過程で必ず出てくる言葉は、①から③に近い表現であったことを今でも思い出します。そのとき、心がけていたことがあります。『継続できることは「能力の一つ」』ということです。どんな人間でも時間を過ごすなかで、様々な物事を続けていなければ生活が送れないのが普通だと思います。しかし、小さすぎて、当たり前すぎて、本当であれば難しくすばらしい習慣であるにもかかわらず、それに気づかないだけであると思っております。

そこで、私は、第三者の目で、具体的な行為を伝え、褒めてあげるように心がけていました。校長の立場になってもこの姿勢は変わらず、着任した学校で、時間間際に登校する女子生徒に、「いつでも、元気な声であいさつを返してくれて、先生は元気をもらっていたよ。誰にもできることはありません。あなたが持っている能力の一つです。」と話したことがありました。その後も、あいさつをしてくれることは変わりませんでしたが、必ず先に「おはようございます」と言ってくれるだけでなく、日に日に声のトーンが明るく変わっていったことを確認できました。卒業時にわかったことですが、この女子生徒は、朝になると緊張してしまい学校に足が向かないときがしばしばあり、送り出すのが大変であったという話を聞きました。その時振り返り、私の声かけが、わずかもかもしれませんが「ありのままの自分」として受け入れるきっかけを与えることができたのかもしれないと勝手ながら思っております。

また、この女子生徒の行動により、気づいたことがありました。先ほど、「日に日に・・・」と記載したように、私は同じ時間同じ場所で登校指導をしていました。毎日毎日繰り返し同じことをしていなければ、女子生徒の変化に気づけなかった可能性があります。場合によっては、小さな、わずかな変化を確認することもできるようになることがわかりました。それ以降、私の中で一つの習慣として位置づけ、職員および生徒の変化に気づけるよう努め、学校経営を進めているところであります。

【7月の主な行事】

1日	水	部活動壮行会
2日	木	学校生活アンケート 1年小児生活習慣病 検診事後指導
4日	土	印旛郡市総合体育大会開始
6日	月	3年実力テスト 1年人権教室
8日	水	専門委員会
10日	金	安全点検日
13日	月	授業参観 保護教各委員会・代表会
16日	木	1学期給食最終日
17日	金	1学期終業式
20日	月	海の日
23日	木	保護者面談・3者面談 開始（～7/31）



9月 1日	火	2学期始業式 テスト前諸活動停止 避難訓練
----------	---	-----------------------------

【部活動等の記録】

【サッカー部】

スプリングカップ

予選リーグ

1回戦 VS 遠山・玉造 8-1○

2回戦 VS 吾妻 4-0○

3回戦 VS 成田付属 0-0△

決勝トーナメント

1回戦 VS 公津の杜 2-0○

2回戦 VS 南山 0-2●

5. 6位決定戦

VS 志津 0-2●

約2カ月にわたっての大会となりました。新人戦県大会出場チームに勝てたことや、公式戦の場多く経験できたことなど、総体に向けていい経験をすることができました。保護者の皆様やOBの皆さんの応援ありがとうございました。

総体での目標は郡大会優勝・県大会出場です。今後ともよろしくをお願いします。

ブロック大会

予選リーグ

決勝トーナメント

初戦 VS 滝野 4-0○

準決勝 VS 南山 0-4●

優秀賞

決勝まで行くことはできませんでしたが、チーム一丸となって戦うことができました。残りわずかな部活動生活。悔いなく終われるよう一日一日を全力で過ごしましょう。

【ソフトテニス部】

第3ブロックソフトテニス大会（個人戦）

優勝

第3位

第5位

2回戦敗退

初戦敗退

ブロック大会では、一人ひとりが最後まで粘り強くプレーし、これまでの練習の成果を発揮することができました。これまで活動を応援してくださった皆さんへの感謝を胸に、経験したことを今後の生活へ生かしていただきたいと思います。

千葉県中学生ソフトテニス選手権大会

2回戦敗退

2回戦敗退

郡の予選を勝ち上がり、見事県大会に出場することができました。また、両ペアともに初戦を勝利することができ、貴重な経験になったことと思います。これからもチームの中心選手として、コート内外で他の部員の模範となる姿を期待しています。

【卓球部】第3ブロック卓球大会

○男子団体優勝

〈予選リーグ〉

- 3-1 印旛
- 3-1 七次台
- 3-1 原山

〈決勝トーナメント〉

- 準決勝 ○3-1 南山
- 決勝 ○3-1 木刈

○女子団体優勝

〈予選リーグ〉

- 3-0 船穂
- 3-0 印西

〈決勝トーナメント〉

- 準決勝 ○3-1 印旛
- 決勝 ○3-0 印西

男子シングルス優勝

男子シングルス 3 位

男子シングルス 5 位

女子シングルス準優勝

女子シングルス 3 位

女子シングルス 5 位

女子ダブルス優勝

女子ダブルス準優勝

(訂正) 印旛郡市中学校春季卓球大会

○女子団体ベスト 8

〈2 回戦〉

vs 四街道中 ○3-2

〈準々決勝〉

vs 臼井中 ●1-3

→セカンドステージに進出

〈1 回戦〉

vs 成田付属中 ●2-3

〈7・8 位決定戦〉

vs 酒々井中 ○3-2

○男子シングルス…第3位:

第5位:

○女子シングルス…第5位:



日頃の練習の成果を発揮することができました。まだまだ向上できるので、総体までの練習を大切にしていきましょう。1年生は最初の大会、準備をしっかりと行うことができました。先輩が後輩に試合の進め方などを教える場面も見られました。全員がマナーを身につけ、挨拶ができる、応援される卓球部でいしましょう。

印旛郡市第三ブロック中学校バドミントン大会

【男子】

〈シングルス〉

- 1 回戦敗退
- 2 回戦敗退
- 第5 位

〈ダブルス〉

- 1 回戦敗退
- 2 回戦敗退
- 第5 位
- 優勝

【女子】

〈シングルス〉

- 1 回戦敗退
- 2 回戦敗退
- 3 回戦敗退

〈ダブルス〉

- 1 回戦敗退
- 2 回戦敗退
- 3 回戦敗退

満足のいく結果だった人もそうでなかった人もいます。しっかり振り返りを行い、残りの時間を大切に、周囲のすべての人たちに感謝の気持ちをもって、総体に向けて練習に取り組んでいきましょう。

【陸上部】第47回千葉県校陸上競技記録会北総大会

〈男子入賞〉 1年100m 3位
 共通800m 7位
 共通1500m 6位
 共通3000m 3位
 共通走高跳 5位
 共通棒高跳 1位
 2位
 共通四種競技 3位

〈女子入賞〉 2年100m 4位
 共通棒高跳 4位



5月30日(土)、5月31日(日)、東総運動場において、千葉県中学校陸上競技記録会北総大会が行われました。ホームストレートは2日間とも追い風で、特に短距離種目にとっては条件の良い大会になったと思います。周回種目にとってはやや厳しい風となりました。残念ながら2年生が日曜から自然教室だったため、2日目不参加となりました。今回は記録会ですから、ベスト記録をねらうことが大きな目標です。また、通信標準突破最後のチャンスとなる大会でもありました。目立った記録はなかったものの、多くの選手がベスト記録を出したのは収穫でした。また、1年生も大会に慣れてきたのも良かったと思います。

県通信出場者が決定しました。14名です。複数種目で標準突破している選手もいますが、出場できるのは1種目です。

【県通信出場者】

—1500m	—3000m	—110m ハードル	—棒高跳
—棒高跳	—棒高跳	—2年100m	—3000m
—棒高跳	—棒高跳	—棒高跳	—走幅跳
—1年100m	—1年100m		

全日本中学校通信陸上競技大会千葉県大会（県通信）

〈男子入賞〉 共通棒高跳 2位
 4位
 〈女子入賞〉 共通棒高跳 6位
 7位
 共通走幅跳 2位



県通信大会、関東大会出場決定！

5人の選手が入賞！

6月20日(土)、6月21日(日)の2日間、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場において、全日本中学校通信陸上競技大会千葉県大会（県通信）が行われました。標準記録を突破した14人の選手が出場しました。その中で 君が棒高跳で、さんは走幅跳で2位となり、関東大会出場が決定しました。関東大会は各種目3位以内に入った選手に出場権が与えられます。そのほかにも 君が棒高跳で4位、さんが棒高跳で6位、さんが棒高跳で7位と、5人の選手が入賞を果たしました。また、入賞とはなりませんでした。2年の 君が2年100mでネクストステージに進出しました。一方で、実力を発揮しきれていない選手も見受けられました。レベルの高い大会で結果を出せる選手が強い選手です。ぜひ、ここぞという大会で力を発揮できる選手になってほしいと思います。また、全国大会標準記録突破のチャンスは、まだ県総体がありますから、そこで突破者が出てくれることを期待しています。

次はいよいよ郡総体です。3年生の多くはこの大会を最後に引退することになります。チームの目標は男女総合優勝です。通信の結果を見ると、木刈のほうがか力的には上です。一丸となって立ち向かう必要があります。そしてもう1つの大事な目標は3年生全員自己ベストです。厳しい目標ではありますが目指していきましょう。そして、郡総体は感謝の心で戦うことが大切です。3年生に感謝し、共に戦い支えてくれた全ての人に感謝し、その力で戦うのが郡総体です。全員一丸となり、戦っていきましょう。そして、県総体出場選手がさらに増えてくれることも期待しています。